

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	日常的に地域の人々が来て頂けるよう地域住民との交流の機会を増やしていく。	行事イベント時だけでなく日常的に地域住民との交流が図れるよう支援する。	小学校や保育園の園児や地域の住民に気軽にグループホームに来てもらえるような行事イベントを計画することから始める。 地区の交流センターでのイベントに参加し顔なじみの関係を作る機会を持つ。	12ヶ月
2	4	運営推進会議で家族代表や行政等から多くの意見が寄せられて災害訓練や地域の祭りの運営に反映されているが近隣住民や家族への会議内容の周知が少ない。	近隣住民や家族に対し運営推進会議等の内容について周知して頂く。	地域住民に対してはチラシなどを配布 ご家族にはお便りにて運営推進会議での内容等周知していく。	6ヶ月
3	1	理念の共有と実践、支援が統一して行えるよう取り組む。	日々の生活の中で入所者の思いや希望などをくみ取り、カンファレンスを通じて実現にむけた支援の有り方等検討する。	人は一人ひとり違いがあるということ「個別性」を重視し可能な限り利用者個々の思いや希望が達成できるよう職員一丸で取り組む。	3ヶ月
4	34	急変時や事故対応に関する研修等に参加	緊急時の対応や事故発生時に備え繰り返し訓練する	内外の研修に参加し緊急時や事故発生時の対応がスムーズに行えるようにする。	12ヶ月
5	35	避難訓練の定期的な実施他事業所との避難に関する協力体制を継続する。	昼夜を想定した訓練の実施や自治会消防団との連携を図る。	避難訓練の定期的な実施を行う。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。